

けんこう静岡

第158号

令和6年
(2024年)
7月1日(月)

季刊 I部50円 年200円
(送料税込)

発行所
公益財団法人 静岡県予防医学協会

https://www.shsa.net/

(静岡事務所) 〒421-0111 静岡市駿河区丸子新田186-5 (054) 270-5177
 (藤枝健診センター) 〒426-0053 藤枝市善左衛門2-11-5 (054) 636-6461
 (総合健診センター) 〒426-8638 藤枝市善左衛門2-19-8 (054) 636-6460
 (沼津事務所) 〒410-0011 沼津市岡宮1210-1 (055) 921-1934
 (浜松健診センター) 〒435-0006 浜松市中央区下石町951 (053) 422-7800

編集 けんこう静岡編集委員会 印刷 池田屋印刷株式会社

静岡県の感染症管理センターの取り組み

感染症の計画とウイルス性肝炎・脂肪肝の計画を中心として



静岡県健康福祉部 感染症管理センター長 後藤 幹生

はじめに

昨年4月に三島市谷田の旧県総合健康センター内で始動した感染症管理センター(以下、センターと略します)では、県民を感染症から適切に守るための3つの機能、①感染症情報の集約と分かりやすい提供、②感染症対応に強い人材づくり、③新型感染症への平時の準備と有事の指揮体制について、取り組みを進めています。

また、昨年度は県の計画である保健医療計画、感染症予防計画、肝炎対策推進計画等を改定する年でしたので、今年度からの6年間にセンターが進めていく感染症等に関する取り組みも新しい計画に書き込みました。今回は、センターの昨年度実施の取り組みと、新計画に基づくこれからの取り組みについて、主に御紹介します。

センターの施設・設備が完成

旧施設の改修工事が完了し、この4月から県健康福祉交流プラザと改名(写真1)し、冷暖房完備の体育館やホール、トレーニングルーム、一周250mのランニングレーン(写真2)等の使用、各種教室も再開しています。センターの執務室の入るプラザ3階では、有事には対策本部室にもなるオンラインと集合のハイブリッド会議が可能な会議室や啓発動画撮影の機材も整いました。2階には、県東部保健所の細菌検査課が入り、完全に隔離されたラボでPCR検査も含めた細菌やウイルス等の各種行政検査を実施しています。これらの設備をフルに活用し、センターの取り組みを展開していきます。



写真1 感染症管理センターの入る健康福祉交流プラザ



写真2 交流プラザのランニングレーン、左・体育館、右・ホール

感染症の流行状況をお天気アプリのように

昨年来流行した、新型コロナウイルスやインフルエンザ、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱など、多くの県民がかかる感染症は、県内の定点医療機関から毎週診断した患者数が報告されます(定点報告といえます)。麻疹(はしか)や梅毒などのごく少数の県民が感染する感染症は、県内の全ての医療機関で1人でも診断したら必ず届けていただいています(全数報告)。これらの県内報告数を全て集約し、お住まいの地域で、どの感染症がどの年代層に、過去と比べてどのくらいの規模で流行しているのか、簡単にお好みのグラフや地図に見られるウェブサイトも今年度中に構築します。職場や学校等での資料にも御活用ください。

福祉施設等従事者向けの研修

昨年度センターでは、高齢者施設等福祉施設の従事者・管理者の皆さんを対象に、県内病院の感染管理認定看護師や専門的な医師を講師に招いて、施設内感染対策の実践的なハイブリッド研修会を県東中西の地域で計十八回開催し、516施設から述べ2,300人に受講していただきました。引き続き、施設の利用者を感染症から守るための研修と施設内訓練や自己学習(eラーニング等)の資料・教材を提供していきます。今後は、医療機関や教育機関向けの研修や解説動画公開も実施していきます。

感染症と肝疾患の新しい計画

昨年度は静岡県の「感染症予防計画」と「肝疾患対策推進計画」を大幅に改定しました。今年度からの6年間でこれらの計画を実行していきます。計画の概要は図表(図1・2)に示していますが、詳細は、静岡県と計画名で検索すれば県ウェブで計画全文を参照できます。

新しい感染症予防計画の第3章ではセンターの取り組みについて方向を示しています。コロナのような感染力の強い新型感染症が発生した際の備えとして、発熱外来や入院病床について県内の医療機関の皆さまと今年度協定を結んで、広く確保していきます。新型感染症がいざ実際に発生した時の県や関係機関の具体的な対応については、静岡県新型コロナウイルス感染症対策行動計画を今年度大幅に改定して、詳しく決めていきます。

新しい肝疾患対策推進計画は、ウイルス性慢性肝炎の治療薬が急速に進歩した一方で、コロナ禍の運動不足や自宅飲酒のため脂肪肝やアルコール性肝炎の県民が増加傾向のため、従来の肝炎計画を肝疾患全体の計画に拡大・強化したものです。私も含めて、健診で脂肪肝を指摘されている方は多いと思いますが、脂肪肝で肝臓の線維化が進行して肝臓が硬くなり肝硬変になっていないか、血小板数と肝機能の血液検査データをお持ちの方は、図3に示した計算式でFIB-4 index(ファイブフォーインデックス)を計算してみてください。例示は私自身のデータですが、幸い線維化リスクは低い状態でした。FIB-4 indexが1.3以上の脂肪肝の方は、かかりつけ医など医療機関に相談してください。

今年度終わるHPVと風しんのワクチン補助

ワクチン関係で、今年度で国の補助制度がなくなるものが2つあります。1つ目は、ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンの接種を逃した方のキャッチアップ接種の補助です。毎年国内で約1万人がかかり、約2,900人が亡くなる子宮頸がんは、HPVワクチン接種と子宮がん検診で効果的に予防できます。平成9年4月2日〜平成20年4月1日生まれの女性でHPVワクチン接種が完了していない方は、お住まいの市町で原則無料で接種できます。詳しくは「静岡県 HPV」で検索お願いします。ちなみに私の娘は、HPVワクチンが定期接種になる前にうちました。

2つ目は、風しんの流行を防ぐために風しんの免疫を持っている人が少ない昭和37年4月2日〜昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、風しんの抗体検査と、抗体が低い場合の風しんワクチン接種を原則無料で行うものです。風しんが流行して感染者が増えたり、風しん脳炎のような重症な方が発生したり、妊婦さんの風しん感染によって赤ちゃんが心臓や目、耳にハンディを持つことがある先天性風しん症候群になるおそれがあります。対象者にはすでに住まいる市町からクーポン券が届いているはずですが、クーポン券が見当たらない方は、市町にお問い合わせください。ちなみに私は血液検査の結果、十分な風しん抗体を持っていました。

おわりに

静岡県感染症管理センターは、今年4月、施設・設備と6年間の計画を整えて、2年目を迎えました。まだ歩み始めたばかりの1歳児ですが、三島の丘から県全体の感染状況をみつめつつ、「県民を感染症から正しく守る」ための取り組みを続けていきますので、ご意見とご協力をよろしくお願い致します。

図3 脂肪肝の人に計算してほしい FIB-4 index

FIB-4 index は、肝硬変・肝がんに行進することがある肝臓の線維化(脂肪による肝細胞の変化)を知る目安

$$FIB-4 \text{ index} = \frac{\text{年齢(歳)} \times AST}{\text{血小板数} \times \sqrt{ALT}}$$

(ファイブフォーインデックス)

FIB-4 index の値	肝臓の状態
1.3未満	線維化のリスクは低い
1.3~2.66	線維化が進んでいる可能性あり
2.67以上	肝硬変に近い状態まで線維化が進んでいる可能性あり

(例)60歳, AST 21, ALT 22
血小板数 24.5万/μL
FIB-4 index = $\frac{60 \times 21}{24.5 \times 10 \times \sqrt{22}} = 1.1$ 線維化のリスクは低い

10は日本の血小板の単位では必要な係数

図2 新しい静岡県肝疾患対策推進計画の柱

【目標】肝硬変や肝がんになる県民を減らす

- 肝疾患の患者やその家族への支援を充実させる
- 肝疾患に対する医療提供体制を身近な地域で確保する
- 肝炎ウイルス検査を、一歩は受けること、定期的検査を受けること、検査結果を踏まえた適切な治療を受けること
- 脂肪肝やアルコール性肝疾患の予防を啓発し、ALT異常の肝疾患の予防を啓発する

図1 新しい静岡県感染症予防計画の概要

第1章 感染症の予防の推進の基本的な方向	
I	対応に当たっての基本方針
II	関係機関の役割及び県民や医師等の役割
第2章 各論	
I	発生前及び発生後の対策
II	医療提供体制の整備
III	国・市町・他県及び関係機関との連携協力の推進
IV	調査研究の推進及び人材の育成
V	感染症に関する知識の普及啓発と情報提供
VI	特に総合的に予防対策を推進すべき感染症対策
VII	その他の施策
第3章 ふじのくに感染症管理センター	
I	司令塔機能
II	感染症情報センター機能
III	検査・相談機能
IV	人材育成機能

「令和4年度版 事業年報」を発行しました。

当協会ホームページ「事業案内」の「●事業年報の発行」をご覧ください <https://www.shsa.net/jigyonenpo/>

